

日本食品衛生協会表彰を受賞

●道の駅たかのす内「レストランどんどん」



▲津谷市長へ受賞の報告をする鷹巣観光物産開発(株)の笹木俊雄社長

日本食品衛生協会表彰を受賞した『レストランどんどん』(道の駅たかのす内)を運営する鷹巣観光物産開発(株)の笹木俊雄代表取締役社長らが、10月31日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

日本食品衛生協会では、食品衛生の一層の向上を図り、国民の食生活の安全と健康増進に寄与するため毎年表彰を行っています。今年度、県内では4施設が日本食品衛生協会表彰を受賞しました。

笹木代表取締役社長は「営業してから24年間、食品の安全性を高めるとともに、施設内の無事故、無違反が評価された。これからも更に磨きを掛けて、厚生労働大臣表彰を目指してがんばっていきたい」と抱負を述べました。

老人クラブ活動で知事表彰を受賞

●佐藤喜美男会長と大淵老人クラブ



▲受賞を報告する(右から)佐藤喜美男さん、森吉副支部長の鈴木繁美さん、武石勝男さん

秋田県老連創立50周年記念秋田県老人クラブ大会で、県知事表彰を受賞した佐藤喜美男(綴子字糠沢)さんと大淵老人クラブの会長らが10月29日、市役所を訪れ、津谷市長へ受賞を報告しました。

佐藤喜美男さんは、北秋田市老人クラブ連合会会長、秋田県老人クラブ連合会理事として、長年にわたって組織づくり、育成指導等に尽力された功績により、老人福祉功績者として表彰を受賞しました。

また、森吉支部の大淵老人クラブ(武石勝男会長)は、交通安全や防災等、社会の実情に即した知識習得を目的とした座談会の開催や健康増進活動、地域奉仕活動、助け合い活動等に積極的に取り組んでいる功績により、優良老人クラブとして知事表彰を受賞しました。

成人病予防で知事表彰を受賞

●生命の貯蓄体操鷹巣支部長の岩谷さん



▲工藤副市長へ受賞の喜びを語る岩谷ナツさん

成人病予防事業功労者として秋田県知事表彰を受賞した岩谷ナツさん(脇神字高村岱)が、11月12日、市役所を訪れ、工藤副市長へ受賞を報告しました。

生命の貯蓄体操鷹巣支部長の岩谷さんは、ゆったりとした動きで気血の流れをよくし、心と体のリラククスとバランスを調える「生命の貯蓄体操」を地域福祉センターや公民館、自治会館等で指導し、20年にわたり成人病予防に尽くされた功績が評価されました。

岩谷さんは「長寿社会なので元気でいれば楽しく暮らせるが、病気や足腰が弱くなると大変。今後は、若い人を育てるとともに初心者教室の開催などを行いたい」と抱負を述べ体操の希望者を募っていました。

政府は11月3日付で、平成24年秋の叙勲、平成24年度文化勲章、平成24年秋の外国人叙勲、第19回危険業務従事者叙勲、平成24年秋の褒章を発令しました。北秋田市からは、危険業務従事者叙勲の消防功労で元北秋田市消防本部消防司令の工藤和久さんが「瑞宝単光章」、選挙関係事務功績で北秋田市明るい選挙推進協議会会長の佐藤昭二郎さんが「藍綬褒章」を受章されました。2人の経歴と功績をご紹介します。



工藤 和久さん
(上杉字上屋布岱・67歳)

—消防功労—

瑞宝単光章

昭和40年から40年間、消防団員、消防吏員として消防業務に使命感を持って従事され、指導者としても地域の消防力強化に貢献されました。

昭和19年12月27日生まれ。米内沢高校を卒業後、同40年に旧合川町消防団入団。同45年に旧鷹巣合川地区消防一部事務組合の消防吏員として採用され、その後、旧4町1村の鷹巣阿仁広域市町村圏組合の消防吏員として、合川、上小阿仁、森吉の各分署に務め、平成17年3月に北秋田市消防署阿仁分署長で定年退職されました。

在職中は、職場の仲間や消防団員との信頼関係を大切にし、各種訓練などを通じて署員と各地区団員が協調する体制づくりを構築するなど、地域防災に尽力されました。

受賞について「先輩方のアドバイスや同僚、部下の協力や支えがあったからこそ。私だけのものではなく、代表しての受賞だと思っている」と周囲に感謝していました。



佐藤 昭二郎さん
(米内沢字黒沢・84歳)

—選挙関係事務功績—

藍綬褒章

昭和63年から現在までの24年間、明るい選挙推進協議会の会長として、投票率の向上と公正な選挙の推進に貢献されました。

昭和2年11月12日生まれ。同63年3月に前田小学校の校長で定年退職し、同年6月に旧森吉町選挙管理委員会からの要請で、同町明るい選挙推進協議会の委員になると同時に会長に就任しました。以来、旧森吉町から現在の北秋田市明るい選挙推進協議会に至るまで長年会長職を務められました。

旧町時代は、得意のスキーで明るい選挙を呼びかけるゼッケンを着けて旧森吉スキー場を滑走したり、市日や祭会場では投票率の向上を呼びかける啓発チラシを配るなど、会の先頭に立って積極的な活動を展開してきました。

受賞について「私はただ長く会長をやっただけで、受賞は皆さんのおかげ」と感謝しながら、「選挙は若年層の投票率が低く、いかに関心を高めていくかが課題」と話していました。

文部科学大臣表彰を受賞

●鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団



▲津谷市長に受賞を報告する同スポーツ少年団の奈良正人団長(中央)と岩谷忠男事務局長

平成24年度の生涯スポーツ優良団体で文部科学大臣表彰を受賞した鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団の奈良正人団長らが11月12日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

今回の受賞は、昭和55年の結成から33年の長きに渡り、地域の子どもたちの健全育成と競技スキー選手育成に貢献したことが評価されたものです。

同少年団は、これまで450人以上の卒団員を送り出し、全国にはばたく選手も多数輩出してきました。

奈良団長は「受賞は少年団を支えてくれた皆さんのおかげ。この受賞を契機にこれからも更に活動へ力を入れていきたい」と抱負を報告しました。